

Table with columns: 事務事業名, 情報センター管理運営事業, 担当, 総務部 情報システム課 地域情報係, 政策名, A 暮らしやすさが実感できるまちづくり, 電話番号, 0285-83-8496, 施策名, 7 地域情報化の推進, 実施計画上の主要事業, 基本事業名, 法令根拠, 真岡市情報センター設置、管理及び使用条例, 事業期間, 単年度のみ, 単年度繰返(開始年度 平成 9年度~), 期間限定複数年度(年度~年度), 予算科目, 1.一般会計, 2.総務費, 1.総務管理費, 10.情報センター費, 事業概要, 真岡市情報センターは、地域情報化を推進し、教育、文化及び市民生活の向上並びに情報通信に関する知識の普及を図るため、平成9年5月10日に開館した。事業内容は福祉・保健・医療、教育、消防・防災等に関する行政情報の提供や、様々な情報通信システムの導入による地域情報化の推進等である。現在、情報センターを核とし、学校支援情報システム、インターネット交流システム、ホームページ及び携帯サイトによるシティガイドシステム、デジタルサイネージ(電子掲示板)を提供している。また、市民向けの事業として、初級パソコン講座をはじめ、ワード、エクセル、パワーポイント、インターネット・メール、年賀状作成講座など、約10講座を年間30回程度開催しているほか、随時パソコン相談も実施している。なお、安心安全メールの配信システムも提供していたが、真岡警察署からの地域安全情報のメール配信サービスと重複するため、平成24年8月で終了とした。情報センターは、指定管理者制度の導入により平成20年度から真岡ケーブルテレビ(株)に運営を委託していたが、2期目の平成26年3月4日に指定取り消しの申し入れがあり、平成27年7月1日から公募による指定管理者の選定を行い、(有)ヨコタに運営の委託を行うことになった。

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

Table with 4 main sections: ①手段(主な活動), ②対象(誰、何を対象にしているのか), ③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか), ④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか). Each section includes activity descriptions and corresponding performance indicators with data for years 23-27.

Table for (2) 総事業費の推移. Columns: 単位, 23年度(実績), 24年度(実績), 25年度(実績), 26年度(実績), 27年度(見込). Rows include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), and トータルコスト(A)+(B).

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

Table with 3 rows of questions and answers regarding the project's environment and public opinion. ①この事務事業を開始したきっかけは何か? ②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡市テレトピア計画に基づき地域情報化を推進している。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡市テレトピア計画に基づいて地域情報化を推進することは、社会福祉・市民サービスの向上、併せて行政事務の効率化のために必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 真岡市テレトピア計画で必要としているサービスを提供し、地域情報化を推進している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 3階フロアにおけるPC利用の在り方やデジタルサイネージ(電子掲示板)の有効利用を図ることで更なる成果向上が期待できる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域情報化の推進及び電子自治体の構築に大きな影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 情報センターの事業費は、通信費、情報機器賃借料等、管理運営経費が主なものであり、事業運営に必要な最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 指定管理者の指導を行うための必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 情報通信技術の体験・普及を目的として開設したものであるため、原則として利用は無料としている。一部、研修室の使用や帳票出力等は、受益者負担の原則から使用料・手数料として料金を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 各種サーバ機器の安定的な管理・運用を図るとともに、3階フロアのPC利用の在り方や、4階に整備したデジタルサイネージ(電子掲示板)の活用、参加意向を考慮したパソコン等の市民講座の開催を図る。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 3階フロアについては、現状のPC利用だけでなく、その在り方について考慮する。また、デジタルサイネージ(電子掲示板)については、対話形式のコンテンツを活用することにより、最新の情報が提供できるようにシステムの運用を考えていく。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							